

開成校新聞

開成中等新聞局
 発行責任者 編集長 佐野 顧問 三上
 * * *
 制作者 川俣 齊藤 北條
 佐野 長田 小川

紙面紹介

2面 谷川俊太郎
 3面 つくば研修
 4面 札幌模擬国連

New 軽音班ライブ開催

今年度から後期生を対象として活動を開始した軽音班が10月15日、16日にPE講義室にてライブを開催し、圧巻の演奏を披露した。両日ともに100名を超える生徒が聴衆として集まり、普段は涼しいPE講義室が1時間にわたって熱気に包まれた。



▲10月16日に行われたハロウィンライブの様子



▲石川華蓮さん

軽音班は現在越野先生、赤城先生、ラファエル先生の3人が顧問となり、班員数53人で活動を行っている。毎週木曜日にPE講義室や木工造形室で練習をしており、活動が軌道に乗り始めている。軽音班が生まれた経緯

について、班長の5年石川華蓮さんは「様々な学年から希望があったことと、先生方の協力を得て設立に漕ぎ着けることができた」と喜色を滲ませた。

軽音班としての最初の活動は、10月15日と16日に実施されたハロウィンライブだ。2日間に総勢7組のバンドが公演を行い、訪れた観客を湧き立たせた。このライブが行われることになった経緯

や今後の方針について班長の石川さんに伺った。

新聞局 全道大会に参加

二年連続の総合賞受賞も

10月8日から10日にかけて、網走市で全道新聞研究大会が実施された。

全道新聞研究大会とは、北海道の新聞部に所属している高校生が集まり、新聞製作の技術や経験の共有、新聞にかける情熱を分かち合うための大会である。

1日目は、開会式と一部分科会の打ち合わせを行う。2日目にそれぞれの分科会に分かれて、高校生新聞に

所属している高校生が集まり、新聞製作の技術や経験の共有、新聞にかける情熱を分かち合うための大会である。

1日目は、開会式と一部分科会の打ち合わせを行う。2日目にそれぞれの分科会に分かれて、高校生新聞に

は、北海道の新聞部に所属している高校生が集まり、新聞製作の技術や経験の共有、新聞にかける情熱を分かち合うための大会である。

1日目は、開会式と一部分科会の打ち合わせを行う。2日目にそれぞれの分科会に分かれて、高校生新聞に

は、北海道の新聞部に所属している高校生が集まり、新聞製作の技術や経験の共有、新聞にかける情熱を分かち合うための大会である。

1日目は、開会式と一部分科会の打ち合わせを行う。2日目にそれぞれの分科会に分かれて、高校生新聞に

は、北海道の新聞部に所属している高校生が集まり、新聞製作の技術や経験の共有、新聞にかける情熱を分かち合うための大会である。

1日目は、開会式と一部分科会の打ち合わせを行う。2日目にそれぞれの分科会に分かれて、高校生新聞に

は、北海道の新聞部に所属している高校生が集まり、新聞製作の技術や経験の共有、新聞にかける情熱を分かち合うための大会である。

1日目は、開会式と一部分科会の打ち合わせを行う。2日目にそれぞれの分科会に分かれて、高校生新聞に

は、北海道の新聞部に所属している高校生が集まり、新聞製作の技術や経験の共有、新聞にかける情熱を分かち合うための大会である。

1日目は、開会式と一部分科会の打ち合わせを行う。2日目にそれぞれの分科会に分かれて、高校生新聞に

は、北海道の新聞部に所属している高校生が集まり、新聞製作の技術や経験の共有、新聞にかける情熱を分かち合うための大会である。

1日目は、開会式と一部分科会の打ち合わせを行う。2日目にそれぞれの分科会に分かれて、高校生新聞に

は、北海道の新聞部に所属している高校生が集まり、新聞製作の技術や経験の共有、新聞にかける情熱を分かち合うための大会である。

1日目は、開会式と一部分科会の打ち合わせを行う。2日目にそれぞれの分科会に分かれて、高校生新聞に

は、北海道の新聞部に所属している高校生が集まり、新聞製作の技術や経験の共有、新聞にかける情熱を分かち合うための大会である。

1日目は、開会式と一部分科会の打ち合わせを行う。2日目にそれぞれの分科会に分かれて、高校生新聞に

は、北海道の新聞部に所属している高校生が集まり、新聞製作の技術や経験の共有、新聞にかける情熱を分かち合うための大会である。

1日目は、開会式と一部分科会の打ち合わせを行う。2日目にそれぞれの分科会に分かれて、高校生新聞に

は、北海道の新聞部に所属している高校生が集まり、新聞製作の技術や経験の共有、新聞にかける情熱を分かち合うための大会である。

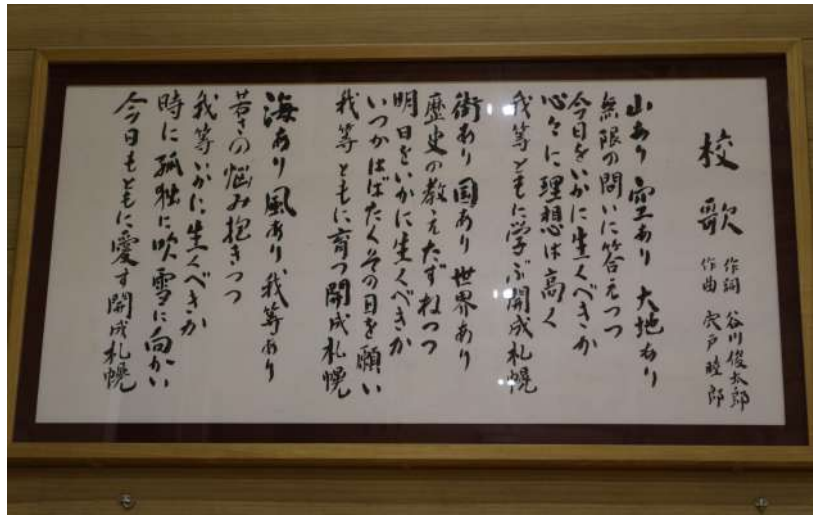
1日目は、開会式と一部分科会の打ち合わせを行う。2日目にそれぞれの分科会に分かれて、高校生新聞に

は、北海道の新聞部に所属している高校生が集まり、新聞製作の技術や経験の共有、新聞にかける情熱を分かち合うための大会である。

1日目は、開会式と一部分科会の打ち合わせを行う。2日目にそれぞれの分科会に分かれて、高校生新聞に

没後一年 繋ぐ想い

山あり、空あり、大地あり、無限の問いに答えつつ。札幌開成高校の校歌は谷川俊太郎さんが作詞を担当し誕生した。本記事では谷川さんの没後一年に寄せて札幌開成と谷川さんの深いつながりを紹介する。



▲体育館に飾られる開成中等の校歌

さんが当時、世界に羽ばたく開成生を想って作詞したことが感じられる。

とところで開成高校の校歌の歌詞の最後は元々「開成高校」であった。しかし、現在の校歌の歌詞の最後は「開成札幌」に変更されている。これは平成24年、開成高校開校50周年の祝賀会に谷川さんが参加した際、すでに開成高校から開成中等への編成が決まっていたため「開成札幌」への変更を谷川さんに提案されたそう。こうして、谷川さんの校歌が時を駆け、今に受け継がれている。

写真：谷川俊太郎さん(中口新聞 2022年8月15日)

開成高校の校舎には校歌以外にも谷川さんの存在を感じられるスポットがある。それが職員室の壁に飾られている、谷川俊太郎さんの直筆色紙である。その色紙には、谷川さんの字で「哺乳類の一種です。ビックバンのおとしごです」と書かれています。

「命のリレー」 伝える色紙



開成高校の校歌が制定された二年後の昭和54年に、生徒へ校歌の意識調査を行ったところ、校歌の歌詞を際らないという生徒が二割を占めていた。また、その後の調査でも、約三割の生徒が「校歌を歌えない」と回答している。

「歌えなかった」開成高時代の校歌

術科目選択における、音楽選択者以外の一年生が指導を受けられていないことにあった。当時は、校歌を歌う機会が甲子園出場時など限られた場面であった。(開成高新聞第65号) しかし現在は、一年次からの音楽の授業で校歌を習うため、多くの生徒が校歌を覚えており、集会など、歌う機会も多くある。

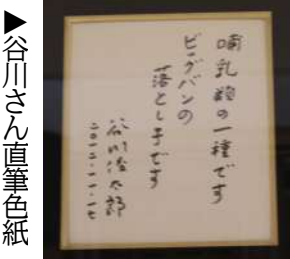
この傾向は特に一年生に多く、原因として考えられることは、芸川さんの校歌が時を駆け、今に受け継がれている。

で知られる久石譲さんに作曲を依頼していたものの、当初は交渉が難航していた。しかし、2011年に谷川さんの詩が出来上がると、詩に感銘を受けた久石譲さんが作曲を引き受けたという。こうして、開成高校50周年記念歌が完成した。記念歌は50周年記念式典で初めて歌われて以来、三年次からの音楽の授業をはじめとした、お昼の校内放送の冒頭などの様々な機会

1931年12月15日〜2024年12月13日、東京都出身。詩人として広く知られているが、作詞家をはじめとした翻訳家や絵本作家としても活躍していた。代表作中では、詩「朝のリレー」(中学一年生の国語の教科書に1989年から掲載)、絵本「あな」(もくもく)、「生きる」(へいわたせんと)、「作詞

日本を代表する詩人！ 谷川俊太郎さん！

「鉄腕アトムの主題歌」「二十億光年の孤独」「世界の約束(映画 ハウルの動く城 主題歌) 翻訳「スイミー」 「スノーピーク ナッツシリーズ」 「アレキサンダーとぜんまいネズミ」ともだちをみつけたねずみのはなし」等がある。谷川さん死去の際には多くの報道陣が谷川さんの直筆校歌の撮影に訪れた。



この色紙について十二期生の生徒に聞くと「こんな色紙があるとは知らなかった」「ひとりひとり」が多くの命と繋がっ

また、谷川さんは開成高校の五十周年記念歌の作詞も担当された。ジブリ映画のテーマ曲「人生のメリューゴランド」や「君をのせて」等

つくばで学ぶ力ガク

11・12期生 20名が研究機関を訪問

9月28日から3日間、11・12期生20名が本校のSSHつくばプロジェクトに参加した。本号では、その様子を紹介する。

1日目

研修初日は、現地に博の会場跡地に建てられたつくば科学館だ。実際にポセスターや地質標本体を動かしたり、説明館、AISI-Cubeを訪れ、知見を広げた。つくばエキスポセン

ターは、1985年に行われたつくば科学博物館だ。ティラノサウルスの頭蓋骨やデスマスチルスと呼ばれる古代の哺乳類などの化石、筑波の地層などを実際に見ることができた。仕掛けのある展示が多かったため、楽しみながら学んでいる生徒の姿があった。

2日目



▲展示されていたデスマスチルスの全身骨格

午前中に国立科学博物館筑波実験植物園を訪れた。実験植物園では、職員の方の講義を受けながら、様々な植物標本を観察した。植物の情報を後世に残していくために植物標本があるのだそうだ。また、「タイプ標本」と呼ばれる、その種の植物の基準となるような貴重な標本も見ることができた。

昨年度に引き続き今年度も本プロジェクトにご協力いただいた、筑波大学修士2年の星野明日美さん(開成中等3期生)に、講演で語った自身の進路について取材を行った。開成在学中は、つくばプロジェクトや屋久島プロジェクトなどの課外研修に数多く参加し、校外の人々と交流を重ねてきたという星野さん。これらの研修では、常に主体的に自ら質問し、積極的に関わる姿勢が求められ、その経験が現在の幅広い人脈形成に繋がっていると語る。



▲取材に答えた星野さん
現在は大大学院で都市計画を専攻し、自動運

「あえて」の選択 別の視点から考える進路

転バスの外観とその受容性という研究を進める。星野さんは来春にKDDI株式会社への入社が決まっている。自動運転ではなく、通信大手の企業を選んだ理由は「KDDIが得意とする通信技術は、都市計画にも自動運転に不可欠でこれから伸びる分野です。あえて都市計画専門ではない企業で働くことで、都市を別の視点から捉えられると思います。都市計画も通信もできたら最強じゃないですか？」と笑顔で説明する。最後に「やるかやらないかで迷ったら答えは『やる』です。興味があるから悩んでいるのですから」と後輩にエールを送った。

3日目

AISI-Cubeは、産業技術総合研究所(以下産総研)の展示施設だ。産総研で最先端の技術を生かし、開発された様々な研究を見ることができた。アザラシ型の医療用ロボットなどが展示されていた。

午後は筑波大学を訪れた。筑波大学では、大学内を歩きながら図

書館などの施設の紹介を受けた。校内にある食堂で昼食をとった後、筑波大学の歴史と学部説明などについての講義を受けた。

夕方からは、Commonで筑波大の先輩方との交流会を行った。地域での交流ができる場となっているCommonには、ワークスペースやカフェ、イベントスペースなどがある。そこで開成を卒業した筑波大学の先輩方とお弁当を食べながら交流した。先輩方のキャリア講演や、グループに分かれて先輩方との進路相談ができ、とても良い機会になった。



▲JAXAのロケットの前で集合写真をとる生徒たち



▲学食の醤油ラーメン

安い!筑波大学の学食

2日目は、筑波大学構内にある食堂で昼食をとった。どのメニューも四百円程度で済ませられるほど安く、毎日多くの生徒が利用している。日付が偶数の日

はうどん、奇数の日はそば、などのように日付によってもメニューが違う仕組みになっている。安くて美味しいのに、飽きないための工夫が凝らされている。

長田虎史朗、小川藍

長田虎史朗、小川藍

札幌高校生模擬国連 開催

9月26日、札幌日本大学中学校のホールにて、札幌高校生模擬国連の第九回大会が開催された。29名の参加者が14カ国の大使として大会に参加し、本校からは6名が出場した。

模擬国連とは、参加者が各国の大使(外交官)になりきり、経済、軍縮、人権、環境問題、紛争などの実際に国連で取り上げられた議題について、国際会議を模擬する活動であり、

全国の高校、大学生連に楽しませている。模擬国連は、1932年にハーバード大学で行われた「模擬国際連盟」に端を発したと言われている。だが、現在高校生が参加できる日本最高峰の模擬国連は、全日本高校生模擬国連と呼ばれており、予選を通過した者のみが参加できる。また、実際の国連に準じて、全て英語で行なわれる。(模擬国連HPより)



▲集合写真



▲スピーチをする重森さん

このような活動を札幌や北海道に普及させていこうと活動しているのが、札幌高校生模

擬国連である。札幌市内の中高生によって運営されており、日本語での議事進行を基本とするほか、フロントからの文言の説明が入るなど、初心者向けの大会としても親しまれている。

(札幌模擬国連より)

「実際の活動が知識に」

札幌模擬国連の運営生徒は毎年募集されており、今回は中学生3人、高校生7人、アドバイザーの大学生2人で行われた。二カ月以上前から準備して、大会を支えている。

「中高生が会議を作る」運営の活動

は、近い場所で大使達の活動を見ることができ。そのため、自分たちで企画、運営を行うことが好きという人の他に、大使として活動することにハードルを感じる、大使としてのペアが見つからないと感じている人も、模擬国連に関わるチャンスにもなっている。(川俣那緒)

第九回札幌模擬国連でアメリカ大使として参加し、優秀賞大賞を受賞した5年の重森拳二さんと、金谷匠真さんにお話を伺った。

Q1 なぜ札幌高校生模擬国連大会に参加しようと思ったのですか？

A1 金谷さん: 社会科に興味があったため、同じ社会科に興味のある人が多そうだなと思って、参加をしました。重森さん: 最初は誘われて参加しました。でも参加したらかなり面白くて、続けての参加を決めました。

Q2 札幌高校生模擬国連に参加して、国際社会に対する意識の変化はありましたか？

A2 金谷さん: もともとある程度全体としての立ち位置を理解して

Q3 札幌模擬国連を通して、どのような知識を深めることができましたか？

A3 金谷さん: 決まったテーマについて、一

つの国のことを隅々まで調査するため、今まで全く知らなかった事やテーマと国との関わりかたについての理解を深めることができました。重森さん: 開成に入ってからニュースもあまり見ていなかったのですが、それぞれの国が平和に向かってどのようなことをしているかがわかりました。相手にも事情があるからこそ難しいという状況をどのように解決していくべきかを考えるきっかけになりました。(川俣那緒)